

博多湾を綺麗にし、福岡を活性化させよう。



チーム名 : 2年チーム2

メンバー名: 糸数・武井・西村・石原

目的

福岡の海を綺麗にしたい

福岡の漁業を盛んにしたい

ゴミ拾いの効率化

どんな価値があるのか

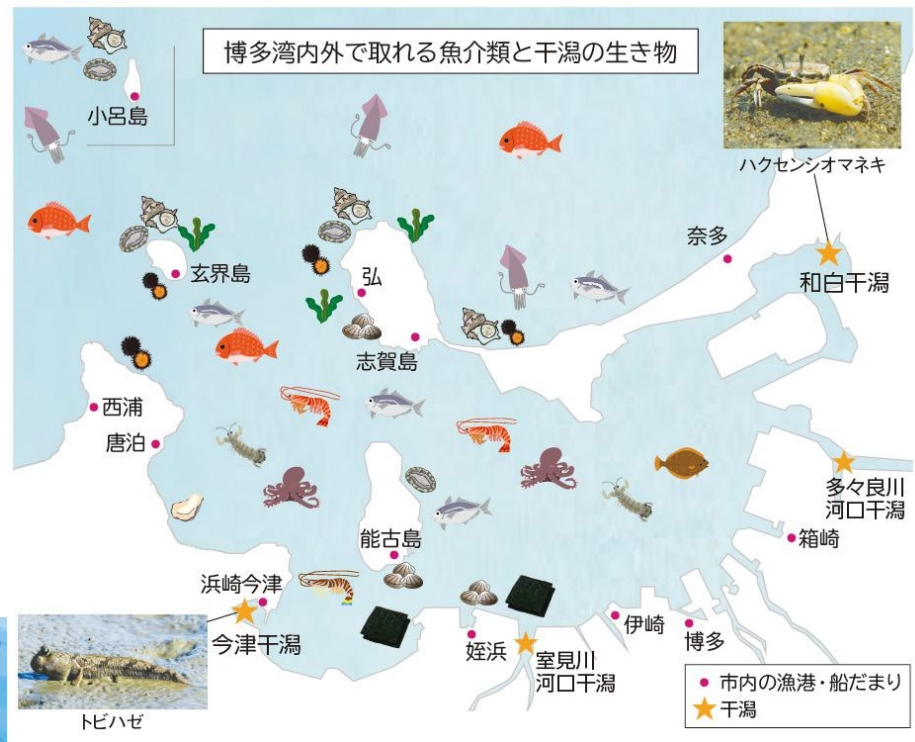
SDGs目標達成の価値

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



どんな価値があるのか

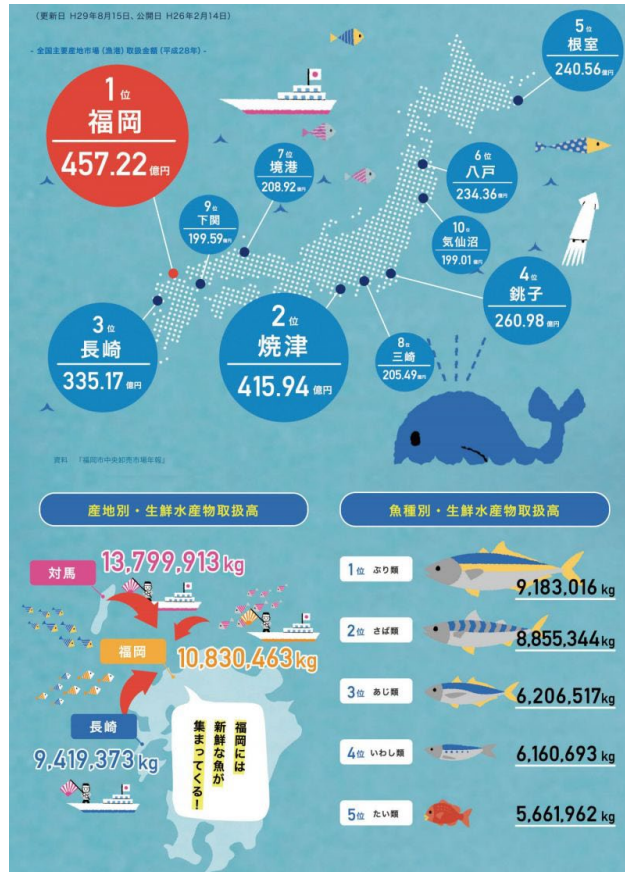
海が綺麗になることで
福岡の魚の品質が保たれる



福岡の景観が保たれる



どんな価値があるのか



全国主要な漁港の
取扱金額で全国1位

魚料理店数は
全国トップクラス

現状の問題点



海の汚染化(ゴミ)

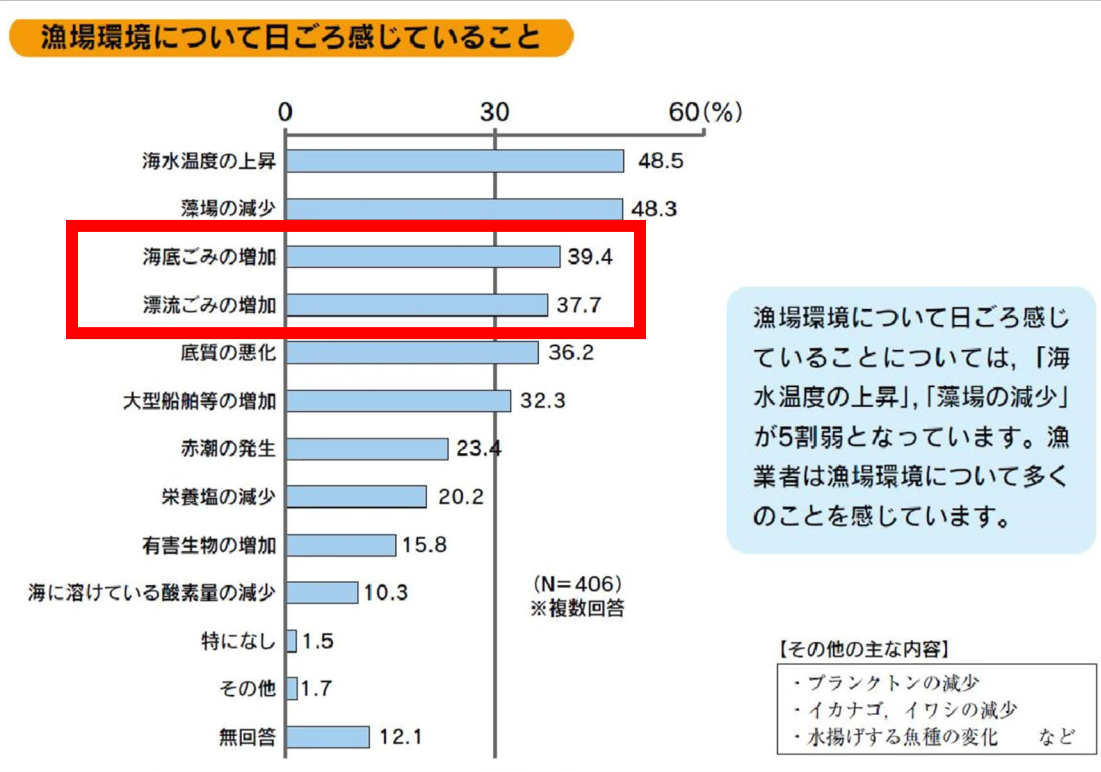
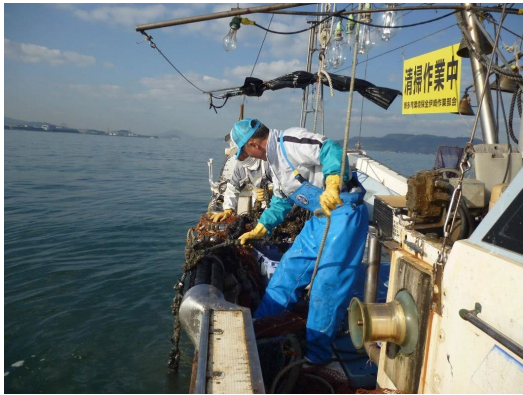
海底ゴミ7月の調査結果
総個数、総重量、総容量
359個、35211g、354L

海底ゴミ12月の調査結果
総個数、総重量、総容量
423個、19215g、444L

海岸漂着ゴミの調査結果 (福浜海岸・生の松原海岸合計)
総個数、総重量、総容量
8491個、74495g、1698L

福岡市保健環境研究所環境科学科「博多湾の海ごみ組成調査」より

現状の問題点



40%以上の漁場関係者が
海底ゴミ、漂流ゴミが
増えたと回答



海質の悪化や
漁場の現象に
つながってる

※福岡市水産業総合計画書を参照

ターゲット層

漁業者



博多湾で魚や貝などの魚介類を獲っている
漁師の人たち

環境保全の方



博多湾環境保全計画推進委員会など

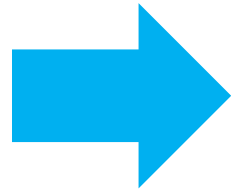
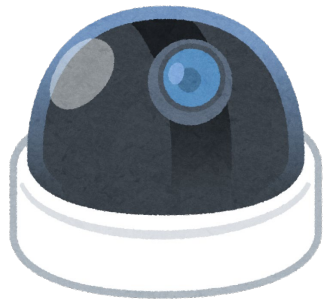
何をすべきか

海中、船の底へ画像認証カメラの設置

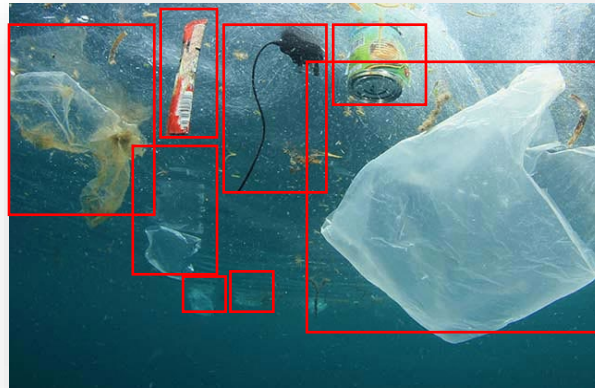


何をするのか

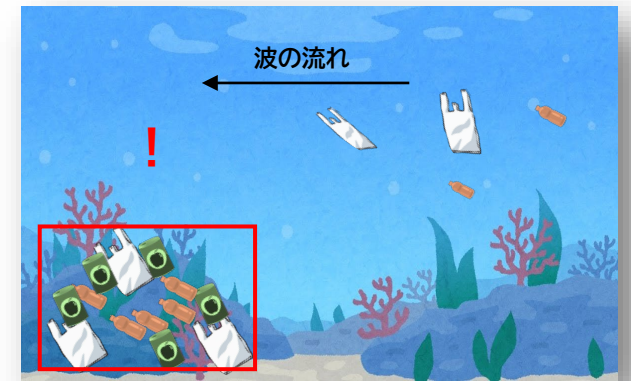
今ある、ゴミのたまり具合を
リアルタイムで観測する
海流を感知し、予測データの取得



ゴミのたまり具合を
カメラで観測



海流を感知し、どこに
ごみがたまるのかを予測



何をするのか

海底ごみの溜まり具合を
目視でリアルタイムで確認し、
回収するタイミングを効率化

海底ゴミが溜まっている



ゴミが
溜まっている！



海底ゴミを回収



実現・協力体制について

行政

- ・海は国・行政の管轄なので許可も含め協力・支援が必要

ダイバー

- ・水中の捜査や、船底・海底のカメラの設置のため協力・支援が必要

漁業組合・漁師の方々

- ・主に漁船の船底にカメラを設置するため協力・支援が必要

実現計画(スケジュール構想)

各協力者の
支援許可

1か月



情報収集

2か月

カメラと
システム開発

4か月

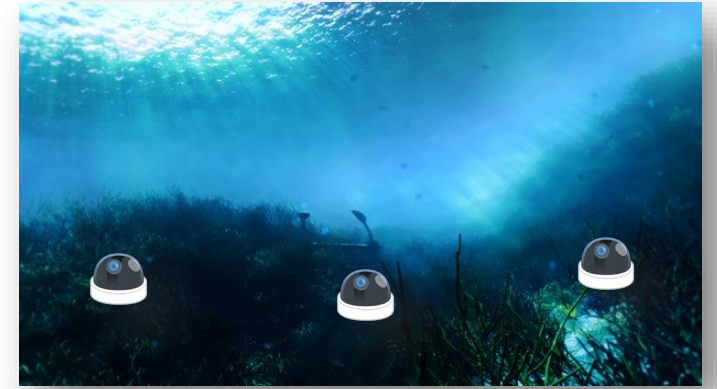


プロトタイプ
作成

3か月

テスト
検証

2か月



実装

0か月



ゴミへの探知機能

視界が悪い海中での精度
(水中の魚や海草をゴミと認識してしまわないか)

課題

水中カメラ図解



海底につけるカメラ（防水、防塵）

- 半永久的に設置するので海水によるカメラの故障の可能性
- カメラに海中のゴミや塵などが付きゴミを感知する精度が落ちる可能性

要点の振り返り

福岡の海を綺麗にしたい

ゴミ拾いの効率化

福岡の漁業を盛んにしたい



海底ごみの見える化によって目的は達成される！

ご清聴ありがとうございました

